

愛する CCMN 家族の皆様
2011 年 8 月 8 日

パキスタンの奴隷になっているクリスチャンを覚えて
引き続きお祈りください。

昨日、地元テレビ局・新聞は更に 90 名もの奴隷とな
っている人たちが、食糧不足で亡くなったことを伝えて
います。今日は、また更に何名の人たちが餓えて亡く
なるのでしょうか？



パキスタン政府は奴隷となっている人達が働いているレンガ工場が、来月 9 月中には再開できると伝えていますが。工場が再始動すると工場主は少しの食糧を奴隷に与えることができます。しかし、今現在、工場は閉鎖され、食糧が与えられないので奴隷達は日々死んでいっているのです。工場が閉鎖されている理由は政府のレンガ工場への課税に対する工場主のストライキによる為で、この間、働いている人達には食事が与えられないのです。

ユニセフ、BBC、CNN は、レンガ工場にいる何百万もの子供達が先月から食べ物がないと叫んでいると伝えていますが、レンガ工場で叫んでいる 9 割がクリスチャンであることは伝えていません。

もし政府がパキスタンのクリスチャンを気遣い、国での存在を認めているならば政府は 1 ヶ月間の食糧を配布することが出来るでしょう…と私達のパートナーでもあるアカー兄は語っています。

1947 年にパキスタンは建国されました。そして、クリスチャンは、今日のエジプトにおける民のように、軽視され苦しんできているのです。メディアは、特にパキスタンの少数派に属する人々がどのような苦しみを受けているのか報道しています。奴隷システム化しているこの状態はとても危険なのです。ですから、共にお祈りください。どのようにすれば共に、この奴隷化状態と貧困に終止符を打つことができるのか。

献金で“共に”支援に参加することができます：

献金を集め共にあなたの教会・ネットワークを利用し CCMN へ送金することで食糧購入・配布に参加しましょう！JCMN の以下の口座に振り込んでくだされば、CCMN に送金いたします。

郵便振替口座

番号: 00830-6-61768

加入者名: JCMN 事務局（記入欄に「パキスタン支援」とお書きください）

ご質問等ございましたら JCMN 事務局までご連絡ください。

住所: 〒352-0032 埼玉県新座市新堀2-16-20 松井ビル2F

電話/FAX: 042-493-4470 Email: office-07@jcmn.net